

SOMETSUKE

染付

染付とは、白磁の素地に呉須で絵付けをし、透明な釉薬をかけて焼いたものやその技法です。呉須はコバルト化合物を含む鉱物で、呉須で絵付けするだけでは「あお」色にならず、透明な釉薬をかけて焼成することで「あお」色に発色します。そのため、染付の絵付けは釉薬の下にされるので、「下絵付」や「釉裏青」とも呼ばれています。



⑤ 染付茶碗
時代：大正時代 製作者：磯村白斎
高さ：8.1cm 口径：12.0cm
白化粧を施したのちに染付で独特なデザインが描かれた作品。胴部外面の他にも口縁端部にも染付の縁どりがされています。高台には切り込みが入ることで茶碗の見どころの一つになっています。

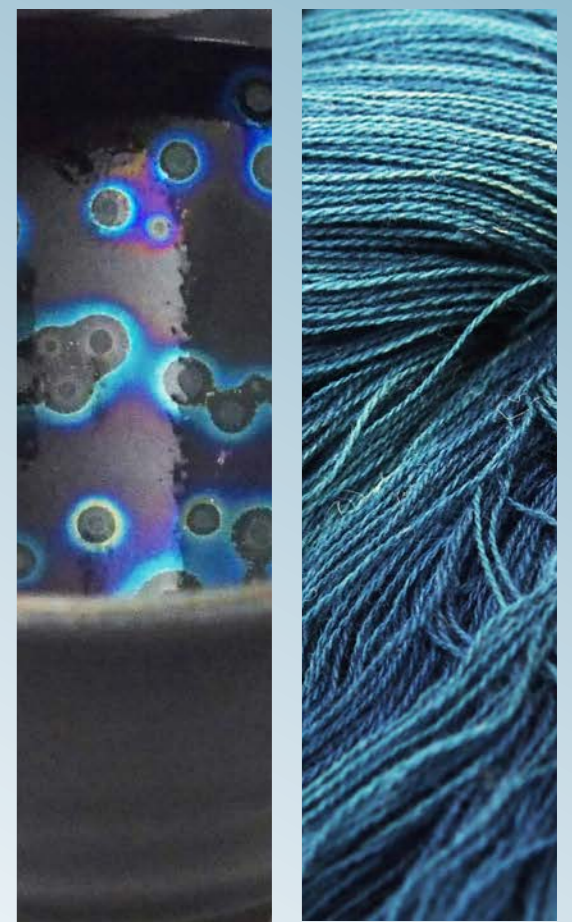
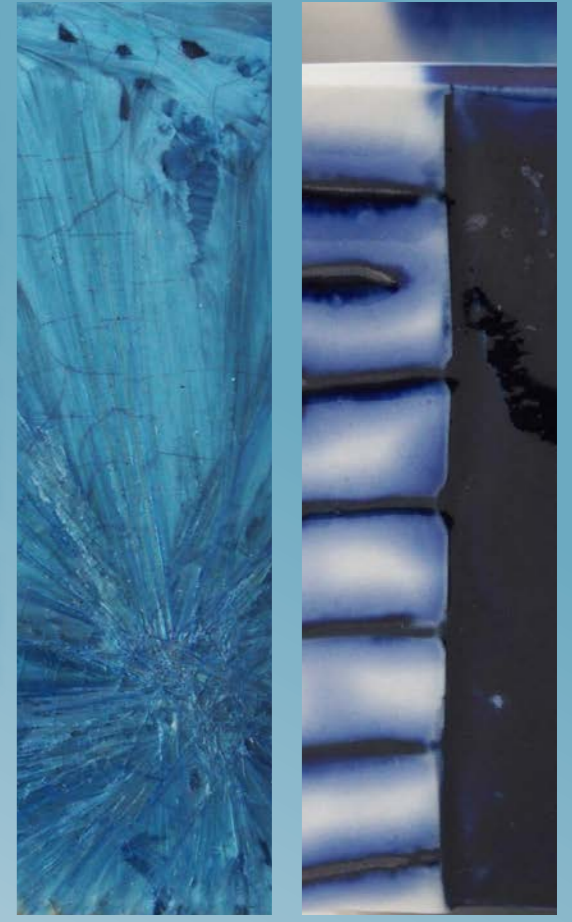


⑥ 呉須絵輪つなぎ模様湯呑
時代：大正時代 製作者：森下木二
高さ：6.3cm 口径：7.5cm
染付で外面の口縁に輪つなぎの模様が描かれている作品。焼成後の冷却時に釉薬がひび割れることでできる貫入の模様が全面に出ています。本作は高さのある高台と外反する胴部が特徴で、経年劣化により、表面が若干黄ばんでいます。



とこなめ陶の森 資料館 企画展

青・蒼・琥珀の道具展



青・蒼・琥珀の道具展

とこなめ陶の森 資料館

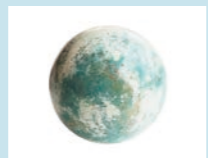
2023年7月8日(土) - 10月1日(日)

ワークショップ(事前予約制) [お申し込み・詳細はホームページへ](#)

開催場所：とこなめ陶の森

第一弾
光る「あお」の泥だんごをつくらう!

7月29日(土) 15:00~16:00
定員：16名(小学生以上)



第二弾
オリジナルの「あお」の下敷きをつくらう!

8月3日(木) 13:00~14:00
8月10日(木) 13:00~14:00
定員：各回10名(小学生以上)



「あお」という色は海や空を連想させる一方で、実際に人々が思い描く「あお」の色には差異があります。

常滑焼と「あお」の関係は古く、平安時代末期からつくられ始めた甕は、貯蔵や醸造の他に、藍染めの道具としても活用されてきました。明治時代になると染める道具だけでなく、「あお」色で彩られたやきものもつくられるようになります。

自然の色であった「あお」の色は少しずつ人々の生活のなかで取り入れられるようになり、今日では様々な「あお」色の道具がつけられています。今回の展示では人の手によって作りだされた「あお」を通じて「あお」の色と「あお」の道具の魅力をそれぞれ紹介します。

(とこなめ陶の森 石津琳那)

藍染め

AIZOME

藍染めとは、染料植物である「藍」によって、モノをあおく染める技法や染められたものです。染める回数が多いほど、濃く、深い色合いに染まります。

藍染めの特徴は色合いだけでなく、布に対して染まりやすい点や防腐、虫よけの効果もあります。そのため、藍染めが日本で流行する江戸時代では、高級品としての藍染めだけでなく、庶民が着る衣服にも藍染めされたものがつくられました。

藍染めに使われる道具である甕は常滑が得意とする大きなやきものです。地中に埋めて使います。藍染めに使われる甕は藍甕と呼ばれ、常滑の甕は藍染めの仕事でも活躍しました。



① 藍甕

時代：江戸時代末期 製作者：不明
高さ：87.0cm 口径：70.0cm

(写真協力：紺屋のナミホ)

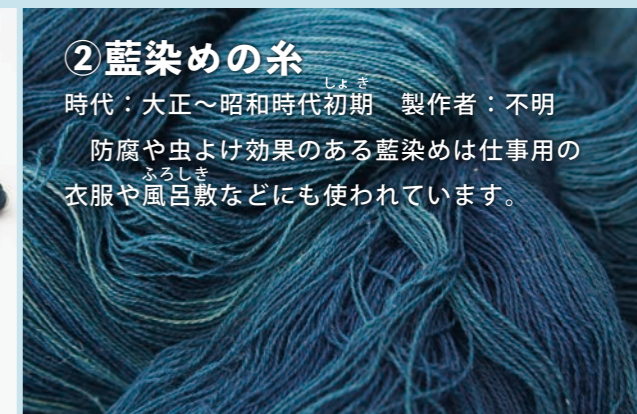


藍を染め液にするために水や石灰などを入れて発酵させます。内面の付着物はそれらが長い年月をかけて固まったもの。



② 藍染めの糸

時代：大正～昭和時代初期 製作者：不明
防腐や虫よけ効果のある藍染めは仕事用の衣服や風呂敷などにも使われています。



釉薬とは、陶磁器などのやきものの表面に付着するガラス質の膜です。釉薬の材料は灰や鉱物で、焼成することで釉薬が溶け出し、ガラス質に変化します。ガラス質に覆われた部分は吸水性が少ない、傷がつきにくい、汚れにくいなどの特徴があります。

釉薬は材料の配分や焼き方によって色味を変化させることができます。そのため、作り手はテストピースを用いて、土との相性や釉薬の溶け具合などを確認します。

釉薬



③ テストピース

時代：令和時代
製作者：とこなめ陶の森

材料の配合、焼成方法、土の種類などがわかるように並べられています。

このテストピースを用いることで、自身のつくりたいもの、表現したいものに合った土や釉薬を知ることができます。

④ 麦殻青磁釉蓮葉大鉢

時代：明治～大正時代
製作者：伝 富本梅月(個人蔵)
高さ：34.7 cm 口径：91.5 cm

常滑は大きなやきものをつくるのが得意な窯業地で、鉢は古くからつくられていました。本作は青磁釉の鮮やかな色合いと胴部外面の蓮の葉の装飾で、いきいとした植物の様子が表現されています。

(常滑市指定有形文化財)

